

## 『絵本の楽しみ』

毎日子ども達は、絵本の読み語りという形で、絵本の世界に入り込んで楽しんでいます。

自分の好きな絵本を本棚から選んできて、保育者の膝を独占しながら繰り返し読んでもらうことで、心を安定させ保育者との応答の関係性の中で絵本のストーリーを楽しもうとする乳児クラスの子ども達。

幼児クラスになると一冊の絵本をみんなで見ることで、面白さや不思議さを共有することも楽しむことができるようになります。また、5、6歳頃になると図鑑で調べたことを友だち同士で伝え合ったり、発見したことを共有しながら友だちとの関係性を広げていく姿もみられます。

IT革命により絵本のストーリーをスマホやDVDで見ることができるようになりましたが、1ページずつ子ども達のペースでめくることのできる絵本は、動きのある動画より想像性や主体性を広げることのできる利点もあります。

絵本を読んでもらうことで、文字への関心につながり、就学後の文字を読む力や文章を書く力など言葉で表現することは、コミュニケーション能力を育むことにも繋がっていきます。

コロナ禍で、絵本の貸し出しが今月からとなりましたが、衛生管理に気を付けながら、秋の夜長を親子で絵本の世界を楽しんでみませんか。子ども達は何よりも保護者の皆さんとの絵本の時間を楽しみにしているはずです。

貸し出し開始日：10月22日（木）毎週木曜日

返却は毎週月曜日

- 布製の絵本袋を前日までに：準備しておいてください。
- コロナ禍のため持ち帰りました絵本については、自宅で衛生管理しながら、絵本の取り扱いなどマナーについても子ども達と話し合ってみてください。
- 破れたり、落書きなどすることがあったら、遠慮なく担任に報告をしてください。



# 令和2年 10月の保育園だより



坂みみょう保育園



## 『不安と安心のサインをよむ』 ～泣き・ぐずり・かんしゃくという 行為が愛着関係をつくる出発点～

朝夕が急に涼しくなり、稲穂が風に揺れ、その周りをアキアカネ（とんぼ）がたくさん飛ぶ頃となりました。

1歳児さんが園庭で空を見上げ「ポ！」「ポ！」と言いながら指差しをしています。「トンボ飛んでるね。」と同じ方向に目を向けてから、その1歳児さんと目を合わせると「ねぇ！」と言わんばかりに得意そうな笑顔。保育者は子ども達の動作と発する言葉を頼りに、何を表現したいかを汲み取っていくのです。まだまだ言葉が十分でない乳児クラスの子ども達は、泣き、ぐずり、かんしゃくといった行為で思いを伝えようとするのがよくあります。

先月、0、1歳児クラスの新入児さんが7名増え、登園時の保育室は保護者の皆さんから離れる時の不安な泣き声の大合唱です。その声につられて泣き始める在園児も少なくありません。

人は生まれたその時から自分を守ってくれる人との間で、安定した関係を求めながら人間として成長をし続ける存在です。

特に0歳、1歳児さんが不安を安心に変えてくれる特定の人との関係をつくる手段として、泣いたり、ぐずったり、かんしゃくをおこしたりしながら、不安や怖さを乗り越えようとしている姿は愛着関係の出発点と言っても過言ではありません。時には身体的に異常がないのに熱が上がってしまうこともあります。迎える保護者さんを見てまた泣くという行為が、保護者のみなさんのスキンシップや温かな言葉かけにより、泣くのを止めながら笑顔を取り戻していく過

程を見ながら私達職員は安心をします。新しい環境に慣れはじめると安心して探索行動するようになりますが、それでもうまくいかないことや不安なことがありますので、大切なのは見守ってくれている人、支えてくれている人がいるという実感です。

「いやだ！」「〇〇したい！」と噛みついたりする行為も目立ってきます。保育者の手を離れて探索活動を始めるからこそ、お友達の存在も感じ、関りができるから泣いて訴えたり、ぐずったり、かんしゃくをおこしたりするのです。

子ども達は特定の保育士（大人）との関係を軸に、他の保育士（大人）、周りにお友達へと関心が移っていきます。大人をてこずらせるような行為こそ、子ども達の成長には欠かせない行為だと受け止めると子育ても少し楽になるのではないのでしょうか。

0歳で不安と安心を基盤に丸ごと受け止めてもらうことを経験した1歳児さんは、後半にはどんどん自分の世界や新しい世界を広げていきます。

幼児クラスでも不安を感じたり安心したりの日々ですが、愛着関係の基盤がしっかりしていると、のめり込む程の興味、関心の対象が増え、自分達で状況を判断することがスムーズになったり、気持ちを調整する力もつきますので、お友達との関係も広がりをみせます。

今月は、幼児クラスの運動あそびの会（運動会）や乳児、幼児ともに参加のアートな生活やあそび展（作品展）を開催します。

子ども達も色いろな表情をみせることと思いますが、子ども達の過ごす保育園の生活やあそびに思いを馳せながら成長を確かめ合える日になると嬉しいです。（園長 倉本弘子）

## 幼児保育参観 運動会（運動あそびの会）

今年度の運動会は新型コロナウイルス感染拡大を避けるため、下記の日程で年齢ごとの保育参観という形でプログラムも縮小させていただいております。

ご来賓などのご遠慮いただき、保護者、ご家族のみの参観とさせていただいておりますが、現在県外や呉市、広島市などでもコロナのクラスターが発生しておりますので、原則として健康で坂町にお住いの方に限らせていただきます。ご来園の際には検温にご協力ください。

プログラムは三部制になっておりますので、観覧席（2階、1階廊下は禁止）の入れ替えがスムーズに進行しますよう、登園時間を厳守してください。（登園時間は先月配信のきっすノートをご確認ください。）

日時： 10月3日（土曜日）

午前9時～11時30分頃まで

1部（年少）午前9時～9時30分

2部（年中）午前9時45分～10時15分

3部（年長）午前10時30分～11時15分

場所： 坂みみょう保育園 園庭



## アートな生活とあそび展

子ども達が保育園で生活していると色いろなモノや人と会う日々です。アートな生活とあそび展では、子ども達があそびの中で色いろなモノに働きかけ、興味関心を広げ、頭の中に思いを描き、想像や創造の世界を楽しんでいるその世界を保護者の皆様も一緒に楽観いてみましょう。きっと楽しい時間になることと思います。

日時：10/31（土）午前9時～正午

場所：坂みみょう保育園 2Fホール

保育室（幼児）

1F保育室（乳児）

※食品バザーや保護者会さくらんぼ会役員の皆様による、用品バザー販売は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため今年度は中止します。詳しいことは後日お知らせをいたします。